医療法人 共和会

小倉リハビリテーション病院／介護老人保健施設 伸寿苑／共和会地域リハビリテーションセンター

介護老人保健施設 伸寿苑

〒803-0861 福岡県北九州市小倉北区篠崎1丁目5-1

TEL.093-591-9050　FAX.093-581-1302

伸寿苑 検索

www.kyouwakai.net

伸寿苑の紹介動画をご覧いただけます。
このQRコードを読み取りご覧ください。

介護老人保健施設の理念と役割

1. 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2. リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など 生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3. 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、他職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4. 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供するとともに、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5. 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

〔202302〕

ご利用案内

Geriatric health services facility
SHINJUEN
GUIDANCE

医療法人 共和会
介護老人保健施設 伸寿苑

運営の目的
取り組み
…
mission

介護老人保健施設とは

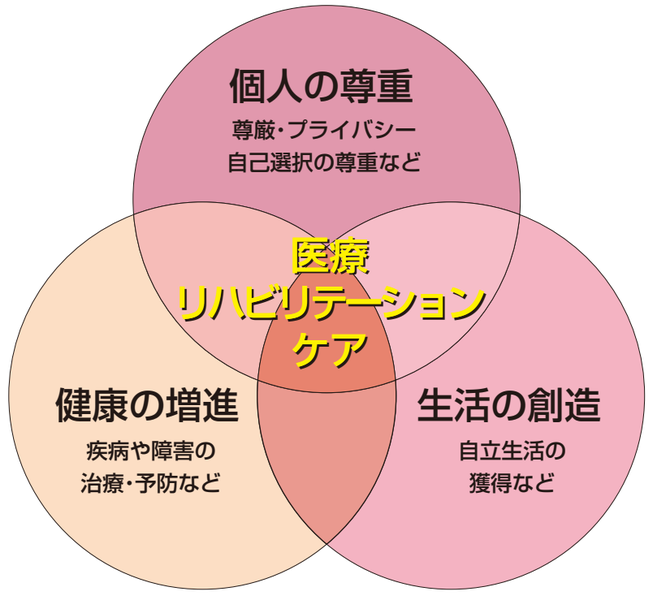
介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために、医師による医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、理学療法士や作業療法士によるリハビリテーションを提供する施設です。利用者ひとりひとりの状態や目標に合わせたケアサービスを、医師をはじめとする専門スタッフが行い、夜間でも安心できる体制を整えています。

施設をご利用できる方（対象者）

病状が安定期にあり、介護老人保健施設において看護・医学的管理における介護及びリハビリテーションその他の必要な医療を要する方が対象となります。

1. 65歳以上で、介護保険の要介護認定で要介護1～5の認定を受けている方
2. 40歳以上64歳までで、特定疾病（脳血管疾患・パーキンソン病等）に該当し、介護保険の要介護認定で要介護1～5の認定を受けている方

伸寿苑の理念
運営方針
…
vision



理　念

私たちは、利用者やご家族の皆様が
安心かつ満足できる医療や
リハビリテーション・ケアを提供します。

運営方針

第1条
当施設は、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って介護老人保健施設サービスを提供するよう努めます。

第2条
当施設は、利用者に応じた目標とサービス計画に基づき、医学的管理の下における看護・介護及びリハビリテーション、その他必要な医療並びに日常生活の世話を行うことにより、生活機能の向上と心身の自立を支援し、居住生活への復帰を目指します。

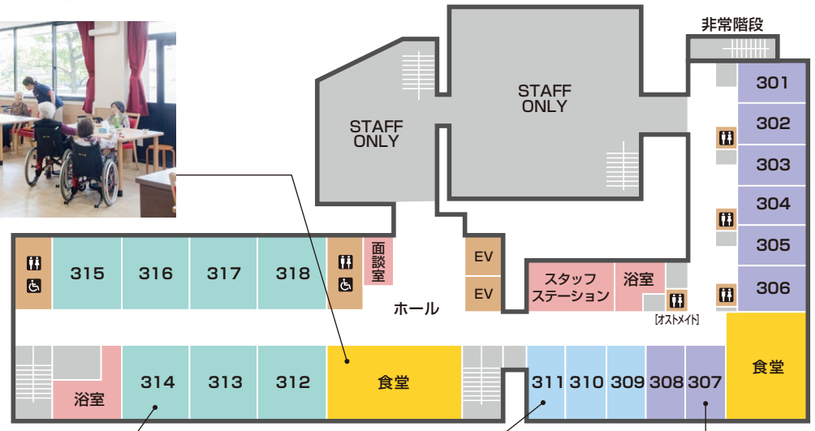
第3条
当施設は、明るく家庭的な雰囲気とともに、地域や家族との連携を重視した運営や情報公開を積極的に行います。また、市町村、居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、介護保険施設その他の保健・医療・福祉サービス事業者と密接に連携し、総合的な支援に努めます。

伸寿苑の
具体的な関わり
・・・
quality

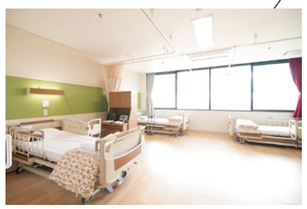
1 個別ケアを目指し、介護単位を小規模化

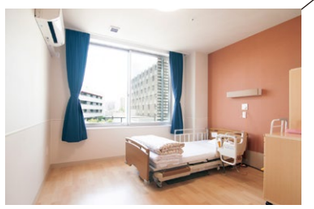
療養生活空間（規模）を20名単位と小規模化することで、利用者のささいな情報・状態をキャッチし、きめ細やかな個別ケアを目指します。

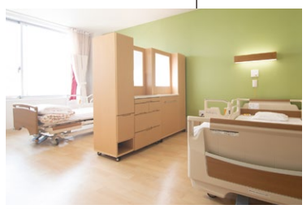
食 堂



フロアガイド
療養棟・居室
（3F）


3人部屋

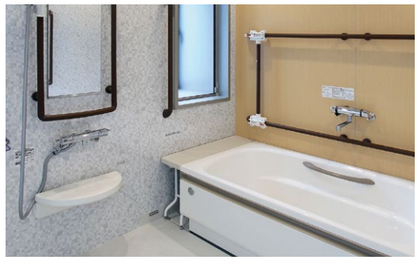

個 室


2人部屋

2 プライバシーと自立支援に配慮したケア空間

利用者の生活目線に立ちプライバシーに配慮しました。中でも浴室は全て個浴対応。能力に応じ自立浴、チェア浴、機械浴を設備しました。4名に対し1つのトイレを設け、人工肛門・膀胱造設者へのオストメイト対応トイレも完備しています。

空間はホワイトを基調とし、明るい雰囲気での
療養生活を追求しました。



人口肛門・膀胱造設者へのオストメイト対応トイレも完備。

3 「座って、歩く生活」の追及…可能性へのチャレンジ

介護福祉士の配置率は90％以上、リハビリテーション専門職と協働して日々、「座って、歩く生活」を支援します。
リハビリテーション専門職は10名（理学療法士4名、作業療法士4名、言語聴覚士2名）配置し、365日個別にリハビリテーションを行います。入所から3ヶ月間は短期集中リハを週7日、認知症短期集中リハを週3日実施します。

※数字は2022年10月現在

4 多職種（チーム）で目指す「その人らしいくらし」の実現

医師、看護師、介護福祉士、リハビリテーション専門職、管理栄養士等の多職種が利用者の自立支援とその人らしいくらしの実現に向けてチームで取り組みます。
入所中から「人となり」やこれまでの「生き方」を踏まえ、これからのくらし方を利用者、ご家族とともに考えていきます。
施設長（リハ専門医）による回診を週1回実施しています。

5 在宅復帰、在宅生活支援の推進

住み慣れた地域で、その人らしくいきいきとしたくらしを実現するため、在宅復帰、在宅生活支援活動を行います。（利用者の半数近くが在宅での生活を実現しています）
在宅復帰に向けた自宅訪問を行い、ご家族への助言・提案等を行います。
在宅復帰された方には退所後の訪問にて生活状況を確認し、ショートステイ・デイケア等在宅部門との連携を行います。

サービス内容

・・・

service

リハビリテーション機能

伸寿苑では、リハ専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）・看護師・介護福祉士等が協働し、利用者の状況に応じたリハビリテーション・ケアを行い、在宅生活の実現に向けて支援を行います。

1 短期集中リハビリテーション

集中的なリハビリテーション（基本動作、日常生活活動、社会参加を視野に入れたプログラム）をリハ専門職が個別で行います。

頻度　週7回（20分程度／1回）

2 認知症短期集中リハビリテーション

軽度から重度の認知症（長谷川式スケール5～25点）の方を対象に、記憶などの認知機能や日常生活活動の向上を目的としたプログラムをリハ専門職が個別で行います。

頻度　概ね週3回（20分程度／1回）

※短期集中リハ、認知症短期集中リハは介護保険上入所後3ヶ月間の実施になります。
3ヶ月を超過された方に対しても週3回のリハビリテーションを実施します。

3 個別リハビリテーション

短期入所療養介護（ショートステイ）利用期間において、基本動作や日常生活活動等の向上を目的としたプログラムをリハ専門職が個別で行います。

4 口腔リハビリテーション

歯科医の指示を受けた歯科衛生士が言語聴覚士や看護師、介護福祉士、管理栄養士等と連携を取りながら、口腔ケアに関わる支援を行います。利用者に対して摂食、会話、呼吸機能の維持・改善を目的に、口腔疾患予防、誤嚥性肺炎予防に努めます。

入所前から退所後までの支援の流れ

…

procedure

入所前

- 入所前訪問
- 入所検討会議

入所

- 入所日評価
- 入所後1週間 入所後訪問
- 入所後2週間 総合カンファレンス
- 退所前1ヶ月 退所前訪問 試験外泊・外出
- 再訪問、再外泊
- 退所前サービス担当者会議

退所

- 退所後1ヶ月 退所後訪問

多職種協働によるチームリハ・ケアの推進

専門職を各フロアに専従配置し、効果的な生活リハビリを実施します。
チーム一丸となって、利用者やご家族の望むくらしの実現に向け支援します。

短期集中
リハビリテーション
【週7日】

認知症短期集中
リハビリテーション
【週3日】

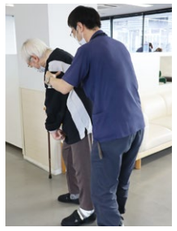
「くらしの再構築」を支援
「地域につなぎ、くらしを支える」

リハビリテーション会議

自宅周辺の歩行練習

ショートステイ

- 短期的に施設に入所（数日～1週間）
- 生活機能評価
- 自宅生活評価
- 介護負担の軽減


個別リハビリテーション

居宅訪問・指導

在宅生活支援

通所リハビリテーション

- 日常の健康管理
- 心身機能、活動、参加の維持・向上
- 閉じこもり予防
- 介護負担の軽減

訪問リハビリテーション

- 自宅へ訪問
- 退所直後の自宅生活を支援
- 実際の自宅・地域での生活課題を解決

IADL練習

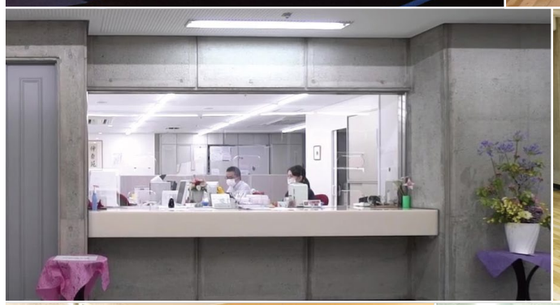
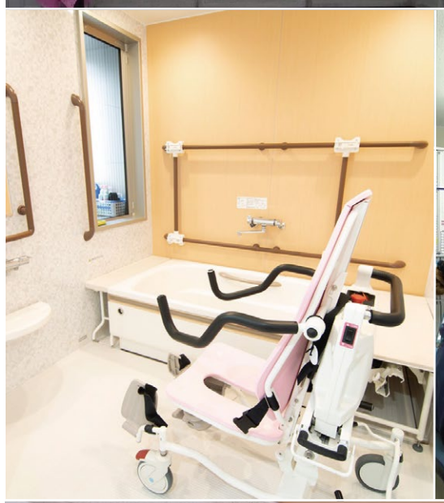
福祉用具の適合判定
住宅改修の提案

施設のご利用・ご案内図

施設でご用意させていただくもの（日用品）

・シャンプー・リンス（各種）　・石鹸・ボディーシャンプー（各種）　・化粧水や髭そり後のクリーム等
・食事用エプロン　・入浴用のフェイスタオル＆バスタオル　・飲み物（お茶や水・紅茶・コーヒー・ジュース等
嗜好品としての飲み物）　・歯ブラシ（通常の歯ブラシ・ICUブラシ・使い捨てスポンジブラシ等）
・義歯洗浄剤　・おしぼり（布・紙）　・ティッシュ（ウエットティッシュ含む）

入所時にお持ちいただくもの

保険証他	・介護保険証　・介護保険負担限度額認定証（お持ちの方）　・介護保険負担割合証 ・健康保険証　・後期高齢者医療被保険者証　・その他医療証（お持ちの方） ・小倉リハビリテーション病院の診察カード（お持ちの方）　・印鑑
日用品	・タオル3～5枚　・ティッシュ　・歯みがき用コップ　・電気カミソリ（男性のみ）
衣類	・日中の普段着上下（1週間3～4着、動きやすいもの）　・下着（多めに） ・寝巻き（3～4着、普段着用しているもの）　・くつ下
履物	リハビリをする為、かかとのある動きやすい靴をご用意ください。
お薬	確認の為、これまで飲まれていたお薬、お薬手帳、もしくはお薬と一緒に入っている説明書をご持参ください。

※紙オムツ、リハビリパンツ、パット類は施設で準備します。
※現金、貴重品の持ち込みはご遠慮ください。（紛失・破損につきましては責任を負いかねます。）
※すべての持ち物にはご記名をお願いします。